

生活

旬のくだもの マンゴー
日本でも、沖縄や宮崎産が出回るようになりました。生食やジュース、ゼリーのほか、若い果実はチャツネにしてカレーの隠し味に。

くらしのこよみ

うつくしいくらしかた研究所

◎ 東京新聞

● 胃がん

胃がんは、わが国のがん死亡率の中で、男性は肺がんに次ぎ、女性は大腸、肺がんに次いで多い疾患です。早期発見、治療が重要とされ、バリウム検査や内視鏡検査を受ける方が多いかと思えます。



Dr. 松井英男の

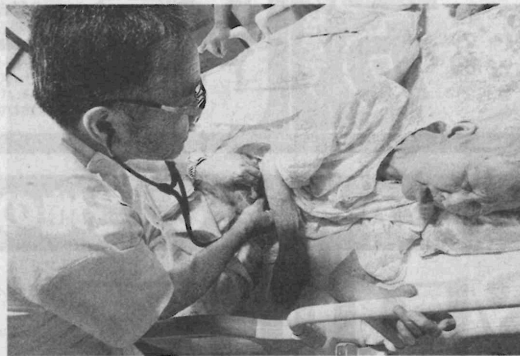
在宅医療のカルテ

ところが、バリウム検査では早期病変を見つけないのはなかなか困難。内視鏡検査に回ってきて、指摘された部分に何もなかった、ということをよく経験します。また、高齢者がバリウム検査を受ける場合、バリウムを誤嚥するリスクがあり、注意が必要です。一方の内視鏡検査は、早期の病変をとらえやすいのですが、検査する医師の診断能力にも左右されます。

最近、がんの遺伝子検査が可能となり、乳がんや卵巣がんの恐れがあるということで、臓器の予防的切除を受けた米国の女優が話題になりました。胃がんの中でも「遺伝性びまん性胃がん」というタイプでは、ある種の遺伝子異常

内視鏡手術も選択肢に

が引き金になることが分かっており、遺伝子変異があった場合、海外では予防的に胃を全摘するという治療が行われています。



腹部の診察をする

しかし、高齢者の場合は、胃を全摘すると、食事量とともに体重の減少が確実です。病状が許す限り、なるべく避けるべきではないかと思えます。現在では、より傷が少ない、内視鏡を使った手術もあり、高齢だからといって治療をあきらめるのではなく、医師と相談してみるのがよいでしょう。

高齢者では、何となく食欲がない、貧血が進んだということが胃がんの症状であることがありません。当院でも、認知症の患者についてこれらの症状がみられたので内視鏡検査をしたところ、三人に胃がんを発見した経験があります。高齢者は、年齢的にがんを発生しやすくなっていることも、診療の念頭に置くことが重要です。

(川崎高津診療所院長)

次回は七月七日掲載